

多様な性のあり方に関する大学生へのアンケート(結果)

調査の方法

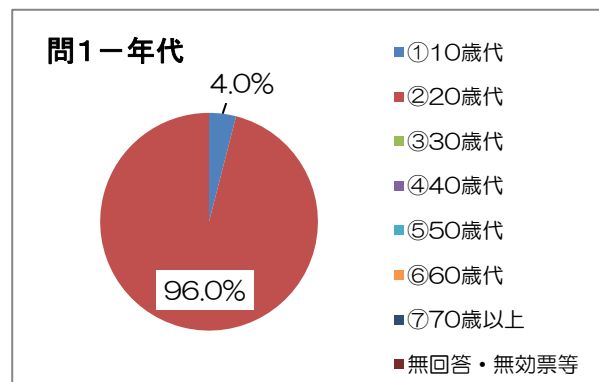
- (1) 調査日 : 令和6年1月22日
 (2) 調査対象 : 星槎道都大学社会福祉学部の学生26人(回答者数25人)
 (2) 調査方法 : アンケート用紙に記入またはオンラインで回答

アンケートの集計結果

※ 複数回答可の問4、問6、問7の割合について、本報告においては、母数を実人数で算出する。

問1-あなたの年代を教えてください。(1つだけに○)

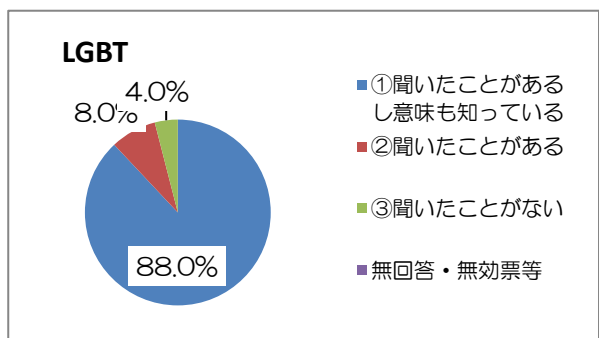
①10歳代	1人	4.0%
②20歳代	24人	96.0%
③30歳代	0人	0.0%
④40歳代	0人	0.0%
⑤50歳代	0人	0.0%
⑥60歳代	0人	0.0%
⑦70歳以上	0人	0.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



問2-あなたは次の言葉について聞いたことがありますか。また意味を知っていますか。

知っている言葉「LGBT」

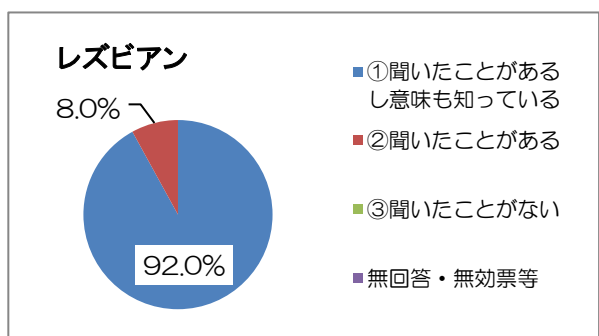
①聞いたことがあるし意味も知っている	22人	88.0%
②聞いたことがある	2人	8.0%
③聞いたことがない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が9割以上

知っている言葉「レズビアン」

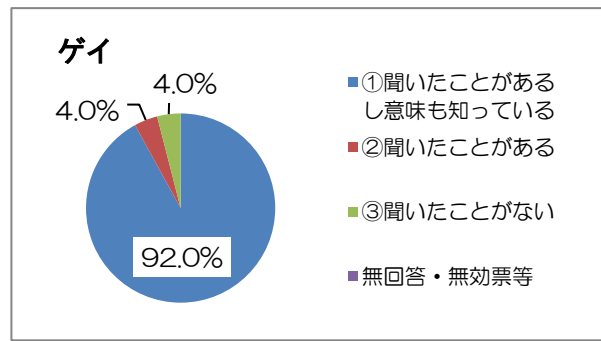
①聞いたことがあるし意味も知っている	23人	92.0%
②聞いたことがある	2人	8.0%
③聞いたことがない	0人	0.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が9割以上

知っている言葉「ゲイ」

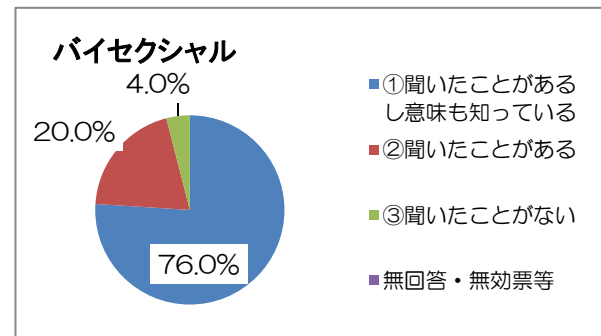
①聞いたことがあるし意味も知っている	23人	92.0%
②聞いたことがある	1人	4.0%
③聞いたことがない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が9割以上

知っている言葉「バイセクシャル」

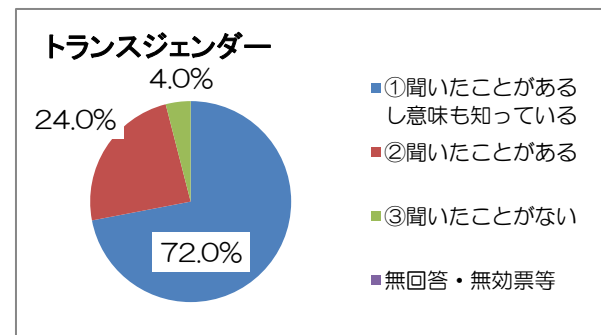
①聞いたことがあるし意味も知っている	19人	76.0%
②聞いたことがある	5人	20.0%
③聞いたことがない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が約8割、「聞いたことがある」を含めると9割以上

知っている言葉「トランスジェンダー」

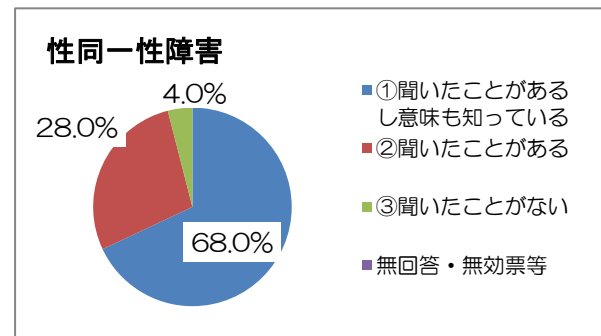
①聞いたことがあるし意味も知っている	18人	72.0%
②聞いたことがある	6人	24.0%
③聞いたことがない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が約7割、「聞いたことがある」を含めると9割以上

知っている言葉「性同一性障害」

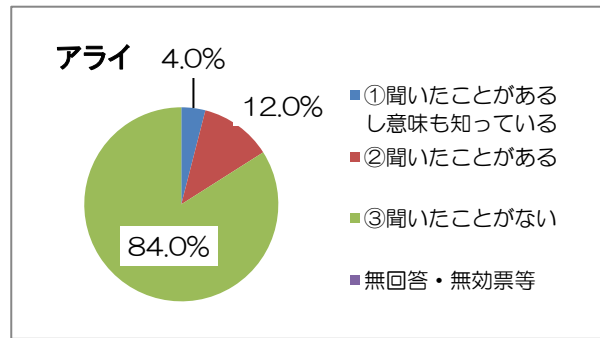
①聞いたことがあるし意味も知っている	17人	68.0%
②聞いたことがある	7人	28.0%
③聞いたことがない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」が約7割、「聞いたことがある」を含めると9割以上

知っている言葉「アライ」

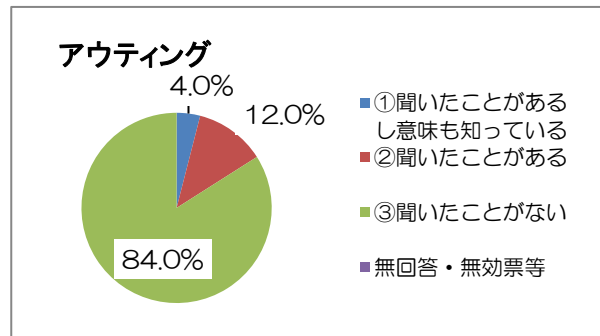
①聞いたことがあるし意味も知っている	1人	4.0%
②聞いたことがある	3人	12.0%
③聞いたことがない	21人	84.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「聞いたことがない」が約8割

知っている言葉「アウトティング」

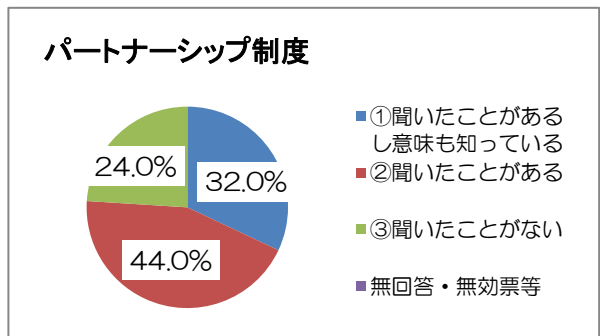
①聞いたことがあるし意味も知っている	1人	4.0%
②聞いたことがある	3人	12.0%
③聞いたことがない	21人	84.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「聞いたことがない」が約8割

知っている言葉「パートナーシップ制度」

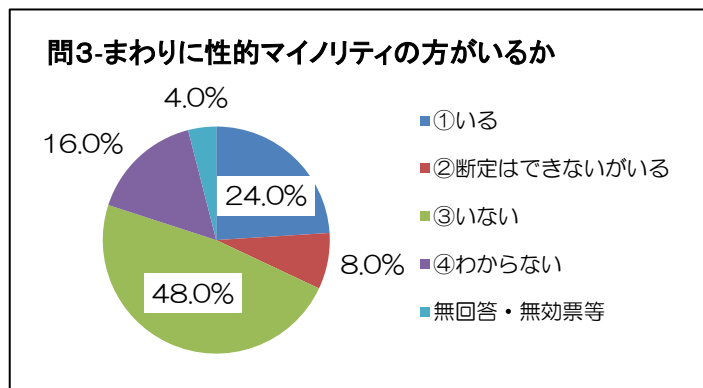
①聞いたことがあるし意味も知っている	8人	32.0%
②聞いたことがある	11人	44.0%
③聞いたことがない	6人	24.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	



「意味も知っている」「聞いたことがある」が約8割だが、内容までを知っているのは約3割

問3-あなたのまわりに性的マイノリティの方はいますか。(1つだけに○)

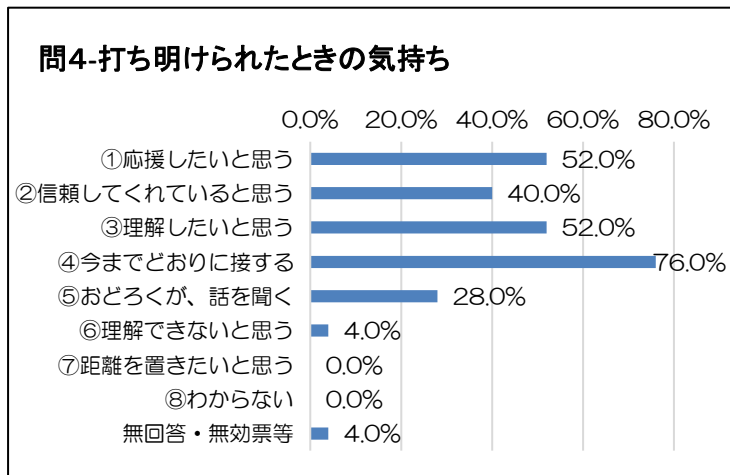
①いる	6人	24.0%
②断定はできないがいる	2人	8.0%
③いない	12人	48.0%
④わからない	4人	16.0%
無回答・無効票等	1人	4.0%
合計	25人	



「断定はできないが」も含め約3割が「性的マイノリティ」がまわりにいると回答

問4-打ち明けられたときの気持ち(複数回答)

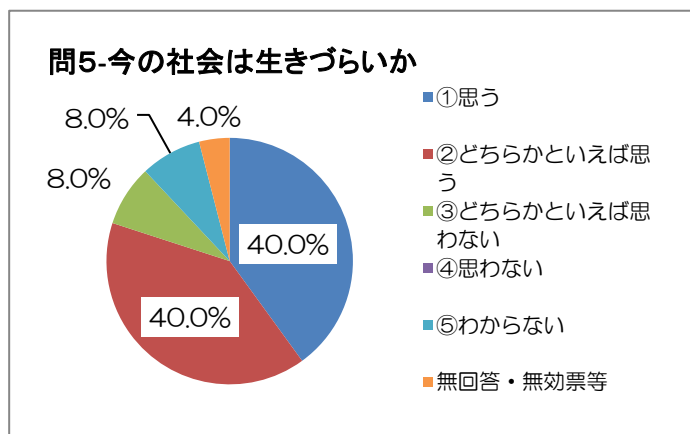
①応援したいと思う	13人	52.0%
②信頼してくれていると思う	10人	40.0%
③理解したいと思う	13人	52.0%
④今までどおりに接する	19人	76.0%
⑤おどろくが、話を聞く	7人	28.0%
⑥理解できないと思う	1人	4.0%
⑦距離を置きたいと思う	0人	0.0%
⑧わからない	0人	0.0%
無回答・無効票等	1人	4.0%
合計	25人	



「今までどおりに接する」が最も多く、消極的な回答は少ない。

問5-性的マイノリティにとって今の社会は生きづらいか

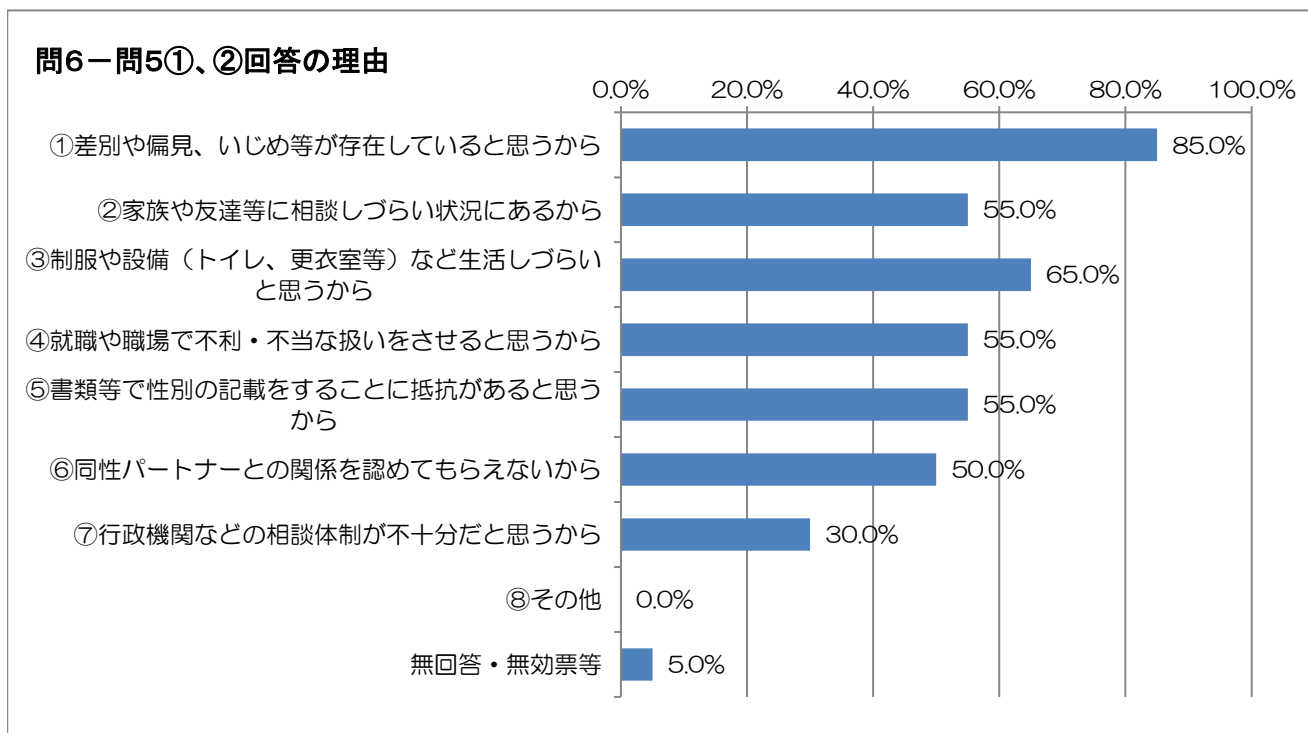
①思う	10人	40.0%
②どちらかといえば思う	10人	40.0%
③どちらかといえば思わない	2人	8.0%
④思わない	0人	0.0%
⑤わからない	2人	8.0%
無回答・無効票等	1人	4.0%
合計	25人	



「生きづらいと思う」「どちらかといえば思う」が8割

問6-問5①、②回答～理由(複数回答)

①差別や偏見、いじめ等が存在していると思うから	17人	85.0%
②家族や友達等に相談しづらい状況にあるから	11人	55.0%
③制服や設備(トイレ、更衣室等)など生活しづらいと思うから	13人	65.0%
④就職や職場で不利・不当な扱いをさせると思うから	11人	55.0%
⑤書類等で性別の記載をすることに抵抗があると思うから	11人	55.0%
⑥同性パートナーとの関係を認めてもらえないから	10人	50.0%
⑦行政機関などの相談体制が不十分だと思うから	6人	30.0%
⑧その他	0人	0.0%
無回答・無効票等	1人	5.0%
合計	20人	

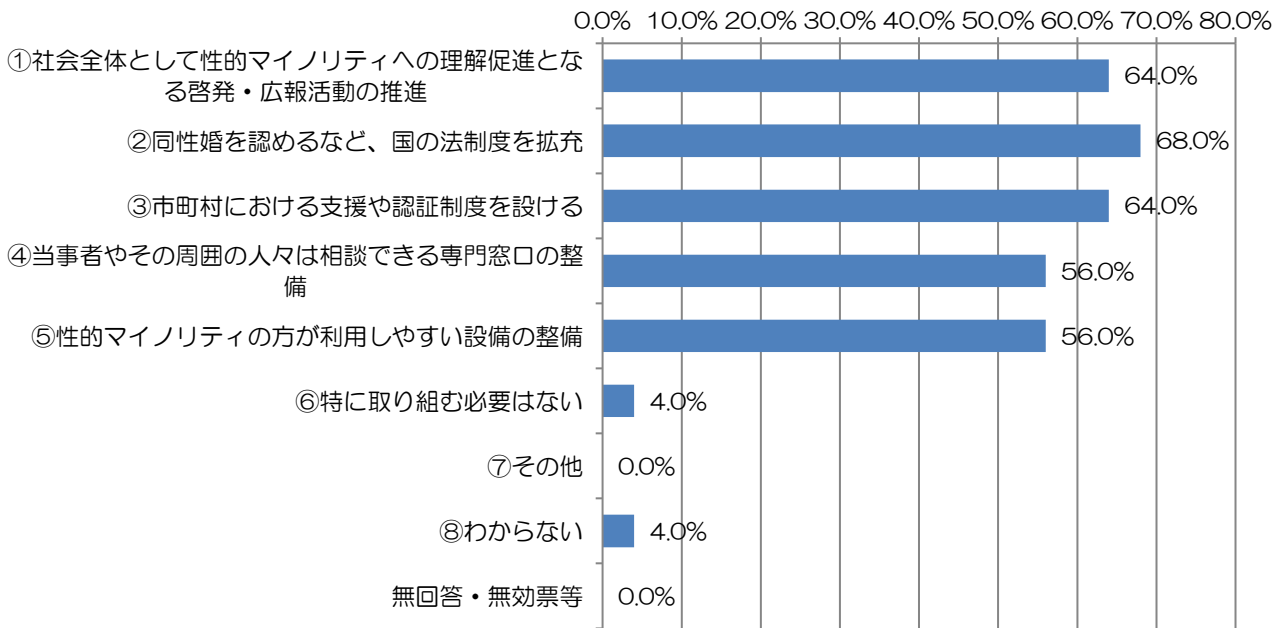


多くの項目で5割程度が理由として回答しており、差別や偏見が存在しているとの回答が約8割以上で最も多い

問7-差別や偏見をなくすにはどのような取り組みが必要か(複数回答)

①社会全体として性的マイノリティへの理解促進となる啓発・広報活動の推進	16人	64.0%
②同性婚を認めるなど、国の法制度を拡充	17人	68.0%
③市町村における支援や認証制度を設ける	16人	64.0%
④当事者やその周囲の人々は相談できる専門窓口の整備	14人	56.0%
⑤性的マイノリティの方が利用しやすい設備の整備	14人	56.0%
⑥特に取り組む必要はない	1人	4.0%
⑦その他	0人	0.0%
⑧わからない	1人	4.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	

問7-差別や偏見をなくすには

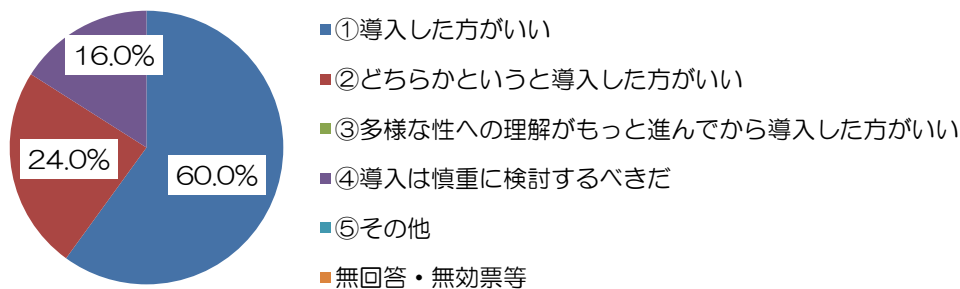


啓発活動や法制度・認証制度の整備などいずれの取組みも6割程度が必要と回答

問8-パートナーシップ宣誓制度の導入についてどう思うか

①導入した方がいい	15人	60.0%
②どちらかという導入した方がいい	6人	24.0%
③多様な性への理解がもっと進んでから導入した方がいい	0人	0.0%
④導入は慎重に検討するべきだ	4人	16.0%
⑤その他	0人	0.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%
合計	25人	

問8-パートナーシップ宣誓制度の導入についてどう思うか



「導入した方がいい」「どちらかという導入した方がいい」が約8割

問9-問8回答の理由(自由記述)

問8回答:①導入した方がいい、②どちらかという導入した方がいい

ないよりも選択肢はあった方がいいから
日本で法として定められていない問題なので、市町村などで、このような取り組みを行えば住みやすくなるのではないかと感じました。
否定する理由がないから
人にもよるが書類上での関係というものが欲しい人もいると思うため。
実際に導入することで周りに理解してもらえるきっかけになると思う。人は、集団意識が強い自分たちと異なる人を差別したり偏見を持ったりするがそれらを導入することで、周知してもらえるきっかけとなり、そういう人たちが生きやすい社会になるのではないと思う。
多様性が重要視される社会で多くの人に目を向けた制度を導入することはプラスの側面の方が多いと思うから
制度を導入すれば、知らない人でもこの制度を理解してくれる人が多いと思う
今の社会には差別や偏見が蔓延している為、少しでも認められ差別偏見の緩和が出来るよう制度を導入すべきだと思った。
パートナーシップ宣誓制度の導入に反対する理由がない。反対する人の理由を知りたい。
LGBTの方が住みやすくなるために早く全国に導入した方がいいと思った。
安否を知ることが必要だから
相手が同性であれど、異性であれど、なにも関係なしに好きな人といられる状況が必要だと感じているから
LGBTへの取り組みが進むと、北広島も活性化すると思うから

問8回答:④導入は慎重に検討するべきだ

現在でもマイノリティの方に対する偏見があるため、周りに対しての理解を深めてもらってから導入すべきだと思います
差別や偏見が現在強い段階で導入すると、大変だと思うから。 また、性自認については自身にしか分からないことだと思うからトイレや温泉、といった現在分けられている施設での、性犯罪などもあると思うため。

問10-パートナーシップ宣誓制度について(自由記述)

もし導入されたら、当事者の方たちは病院での面会などでも家族限定となった時に会うことが可能となるととても素敵だと思います。
色々な場所で導入してほしい
色々な所で広まれば良いと思う

問11-性的マイノリティに関する理解の促進に向けた取り組みについて(自由記述)

1組以上の性的マイノリティ者の顔と名前を出してネットで活動する
日本を出ると色々な性が認められている国も多い為、日本も性的マイノリティが認められ、色々な形が認められる多様化された国になればいいなと思った。
もっと知りたいと思った。
自分ももっと学んでいきたい

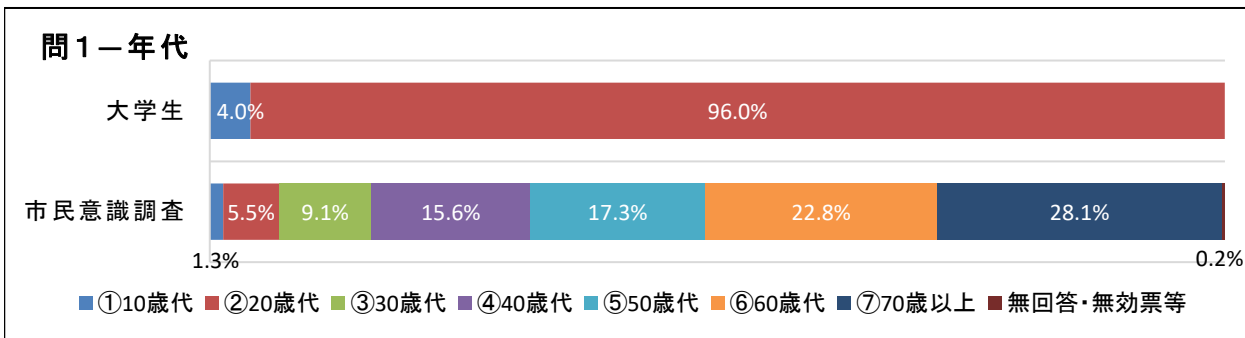
市民意識調査との比較

多様な性に関する市民意識調査

- (1) 調査期間 : 令和3年11月1日～11月17日
- (2) 調査対象 : 令和3年10月25日時点で18歳以上の市民3,000人(回答者数1,268人、回答率42.9%)
- (2) 調査方法 : アンケート用紙に記入またはオンラインで回答

問1-あなたの年代を教えてください。(1つだけに〇)

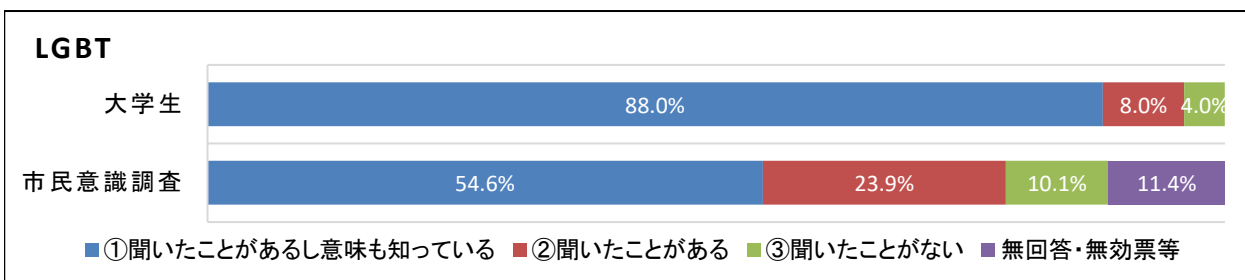
	大学生		市民意識調査	
	人数	割合	人数	割合
①10歳代	1人	4.0%	17人	1.3%
②20歳代	24人	96.0%	71人	5.5%
③30歳代	0人	0.0%	117人	9.1%
④40歳代	0人	0.0%	201人	15.6%
⑤50歳代	0人	0.0%	222人	17.3%
⑥60歳代	0人	0.0%	293人	22.8%
⑦70歳以上	0人	0.0%	362人	28.1%
無回答・無効票等	0人	0.0%	3人	0.2%
合計	25人		1,286人	



問2-あなたは次の言葉について聞いたことがありますか。また意味を知っていますか。

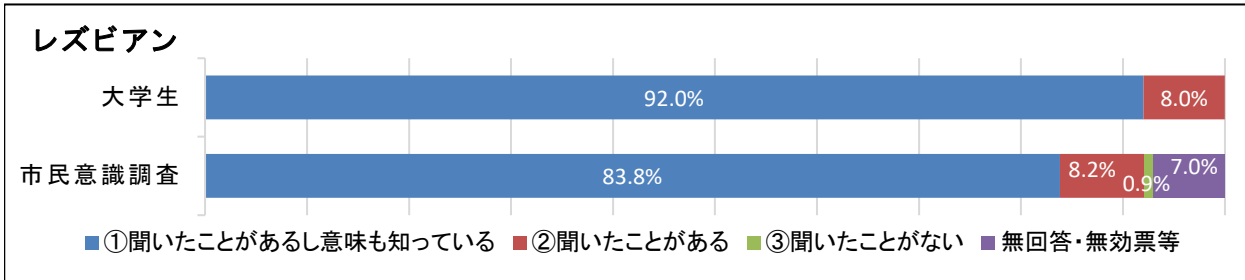
知っている言葉「LGBT」

	大学生		市民意識調査	
	人数	割合	人数	割合
①聞いたことがあるし意味も知っている	22人	88.0%	702人	54.6%
②聞いたことがある	2人	8.0%	307人	23.9%
③聞いたことがない	1人	4.0%	130人	10.1%
無回答・無効票等	0人	0.0%	147人	11.4%
合計	25人		1,286人	



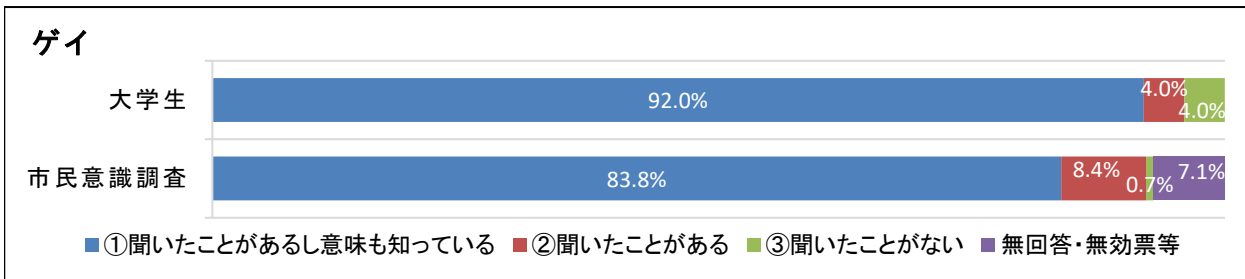
知っている言葉「レズビアン」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	23人	92.0%	1,078人	83.8%
②聞いたことがある	2人	8.0%	106人	8.2%
③聞いたことがない	0人	0.0%	12人	0.9%
無回答・無効票等	0人	0.0%	90人	7.0%
合計	25人		1,286人	



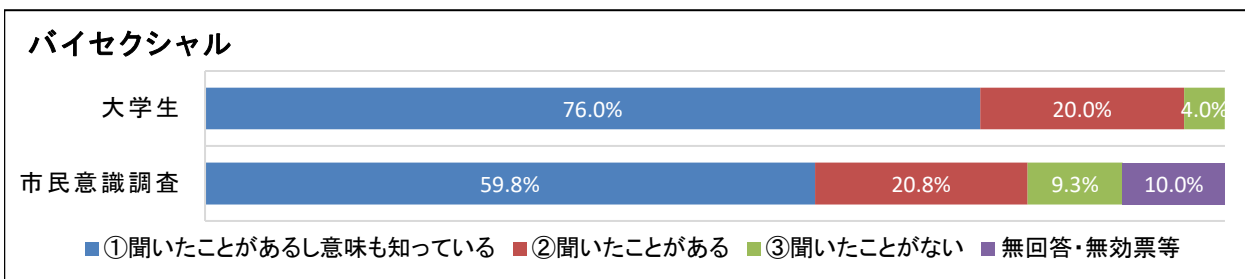
知っている言葉「ゲイ」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	23人	92.0%	1,078人	83.8%
②聞いたことがある	1人	4.0%	108人	8.4%
③聞いたことがない	1人	4.0%	9人	0.7%
無回答・無効票等	0人	0.0%	91人	7.1%
合計	25人		1,286人	



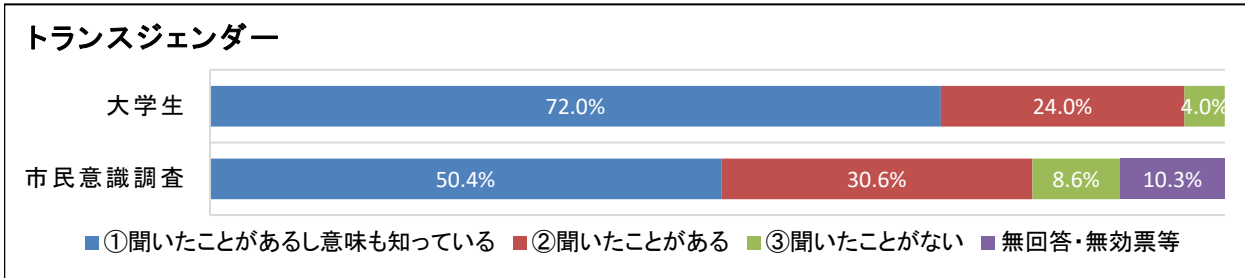
知っている言葉「バイセクシャル」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	19人	76.0%	769人	59.8%
②聞いたことがある	5人	20.0%	268人	20.8%
③聞いたことがない	1人	4.0%	120人	9.3%
無回答・無効票等	0人	0.0%	129人	10.0%
合計	25人		1,286人	



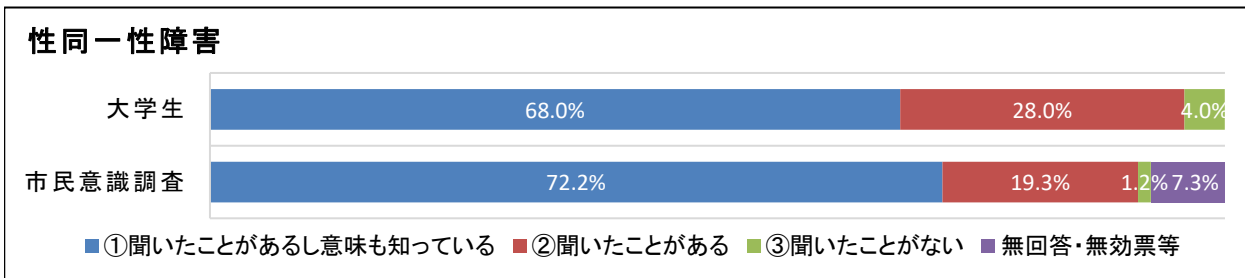
知っている言葉「トランスジェンダー」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	18人	72.0%	648人	50.4%
②聞いたことがある	6人	24.0%	394人	30.6%
③聞いたことがない	1人	4.0%	111人	8.6%
無回答・無効票等	0人	0.0%	133人	10.3%
合計	25人		1,286人	



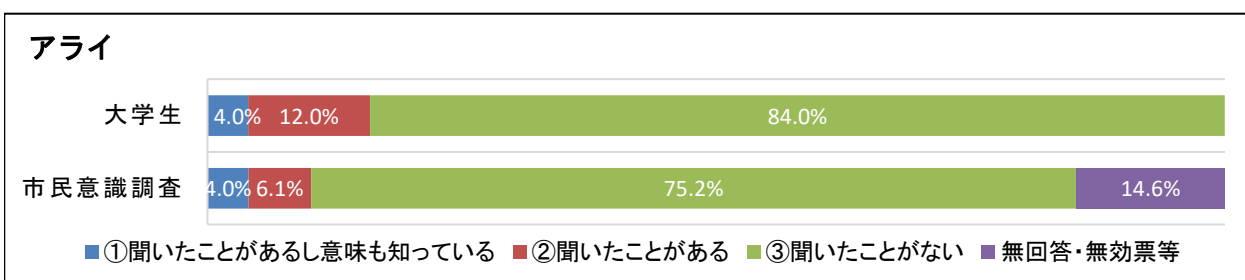
知っている言葉「性同一性障害」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	17人	68.0%	928人	72.2%
②聞いたことがある	7人	28.0%	248人	19.3%
③聞いたことがない	1人	4.0%	16人	1.2%
無回答・無効票等	0人	0.0%	94人	7.3%
合計	25人		1,286人	



知っている言葉「アライ」

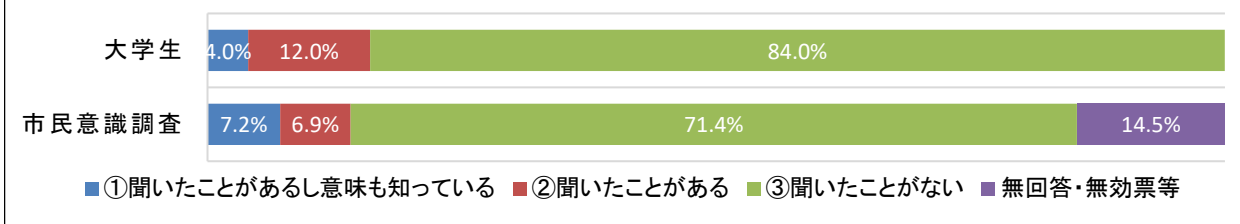
	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	1人	4.0%	52人	4.0%
②聞いたことがある	3人	12.0%	79人	6.1%
③聞いたことがない	21人	84.0%	967人	75.2%
無回答・無効票等	0人	0.0%	188人	14.6%
合計	25人		1,286人	



知っている言葉「アウトティング」

	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	1人	4.0%	92人	7.2%
②聞いたことがある	3人	12.0%	89人	6.9%
③聞いたことがない	21人	84.0%	918人	71.4%
無回答・無効票等	0人	0.0%	187人	14.5%
合計	25人		1,286人	

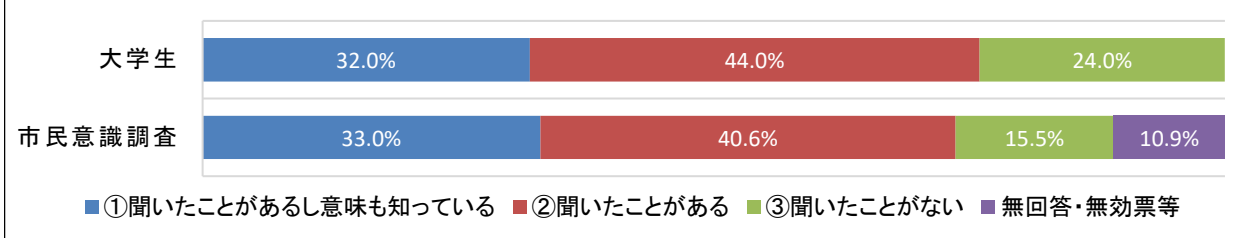
アウトティング



知っている言葉「パートナーシップ制度」

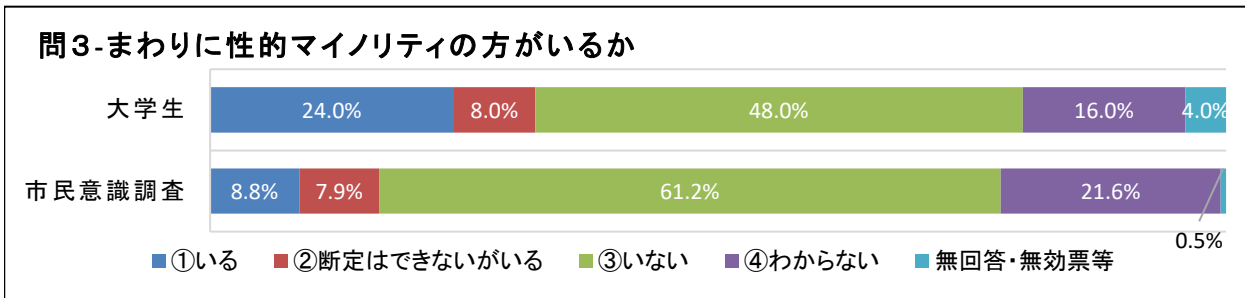
	大学生		市民意識調査	
①聞いたことがあるし意味も知っている	8人	32.0%	425人	33.0%
②聞いたことがある	11人	44.0%	522人	40.6%
③聞いたことがない	6人	24.0%	199人	15.5%
無回答・無効票等	0人	0.0%	140人	10.9%
合計	25人		1,286人	

パートナーシップ制度



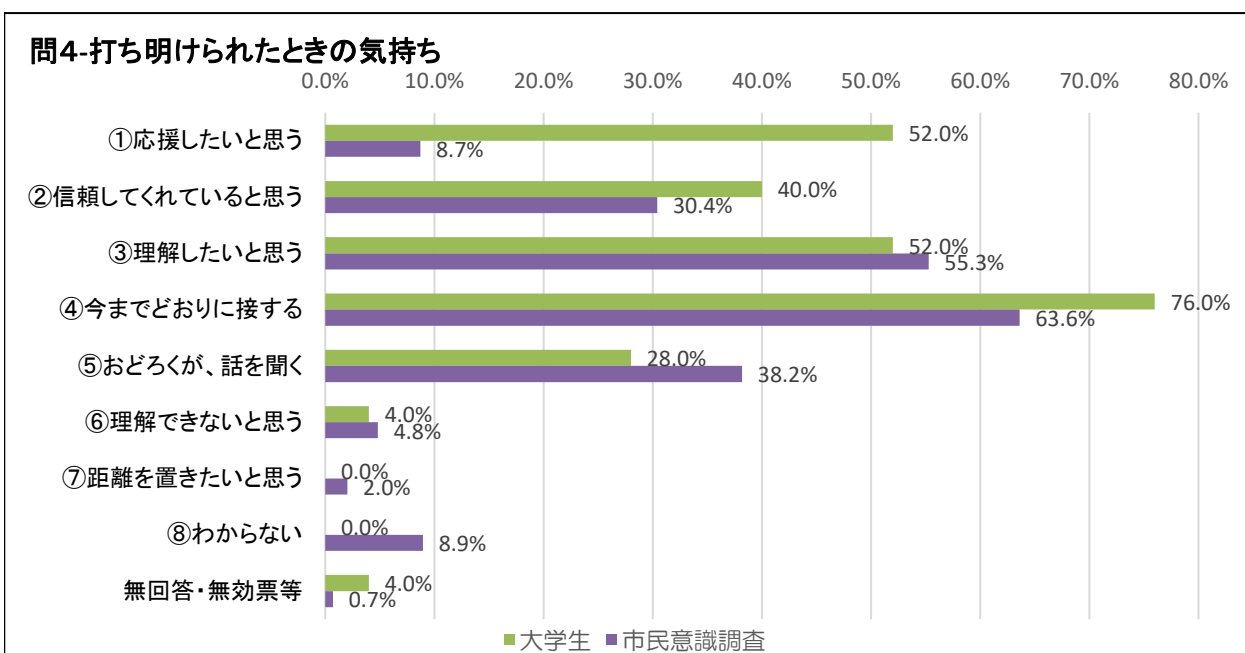
問3-あなたのまわりに性的マイノリティの方はいますか。(1つだけに○)

	大学生		市民意識調査	
①いる	6人	24.0%	113人	8.8%
②断定はできないがいる	2人	8.0%	101人	7.9%
③いない	12人	48.0%	787人	61.2%
④わからない	4人	16.0%	278人	21.6%
無回答・無効票等	1人	4.0%	7人	0.5%
合計	25人		1,286人	



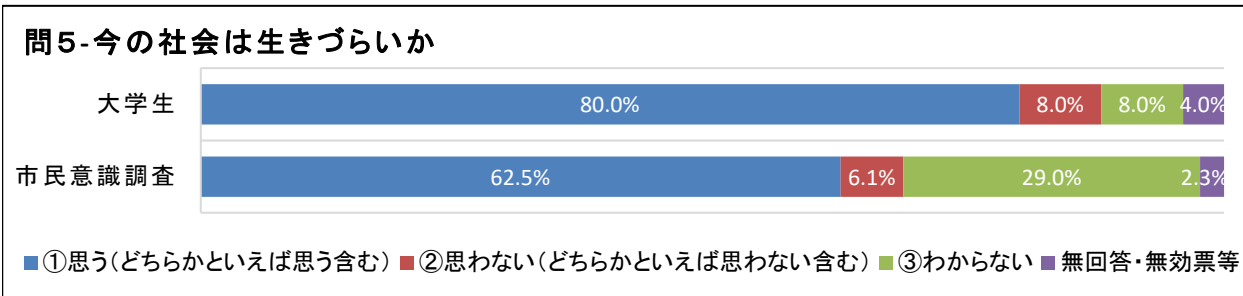
問4-打ち明けられたときの気持ち(複数回答)

	大学生		市民意識調査	
①応援したいと思う	13人	52.0%	112人	8.7%
②信頼してくれていると思う	10人	40.0%	391人	30.4%
③理解したいと思う	13人	52.0%	711人	55.3%
④今までどおりに接する	19人	76.0%	818人	63.6%
⑤おどろくが、話を聞く	7人	28.0%	491人	38.2%
⑥理解できないと思う	1人	4.0%	62人	4.8%
⑦距離を置きたいと思う	0人	0.0%	26人	2.0%
⑧わからない	0人	0.0%	115人	8.9%
無回答・無効票等	1人	4.0%	9人	0.7%
合計	25人		1,286人	



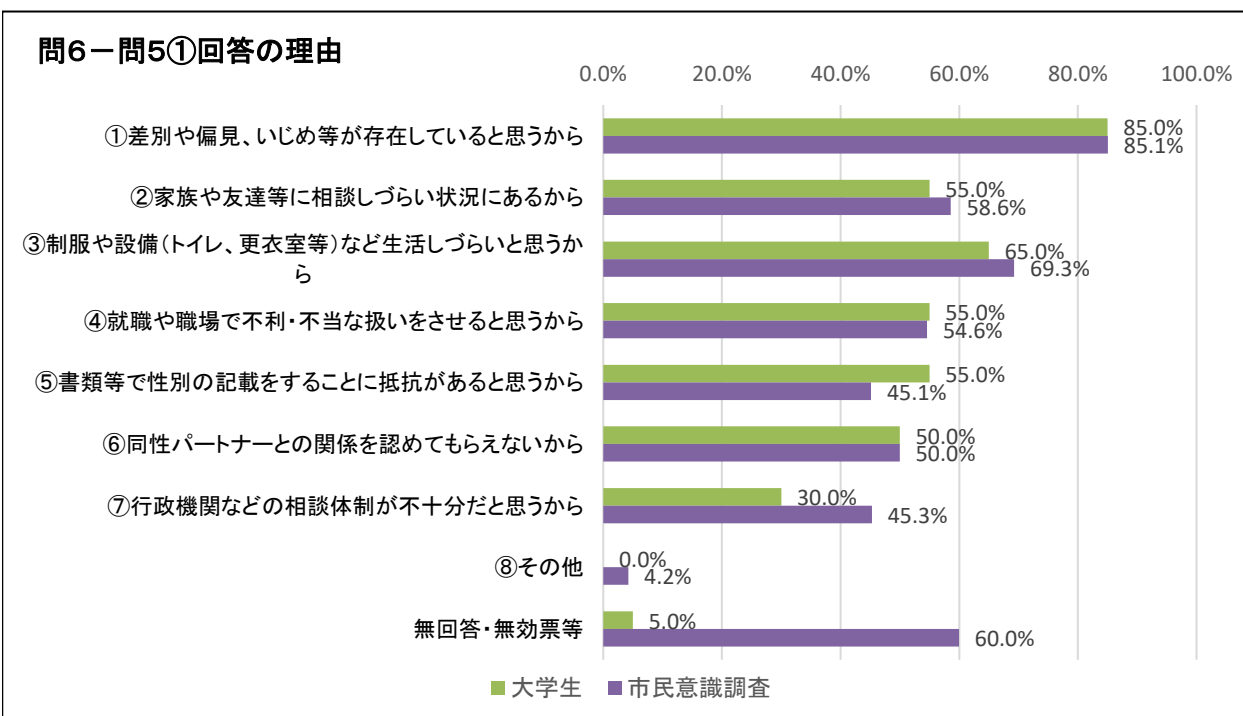
問5-性的マイノリティにとって今の社会は生きづらいか

	大学生		市民意識調査	
	人数	割合	人数	割合
①思う(どちらかといえば思う)	20人	80.0%	804人	62.5%
②思わない(どちらかといえば思わない)	2人	8.0%	79人	6.1%
③わからない	2人	8.0%	373人	29.0%
無回答・無効票等	1人	4.0%	30人	2.3%
合計	25人		1,286人	



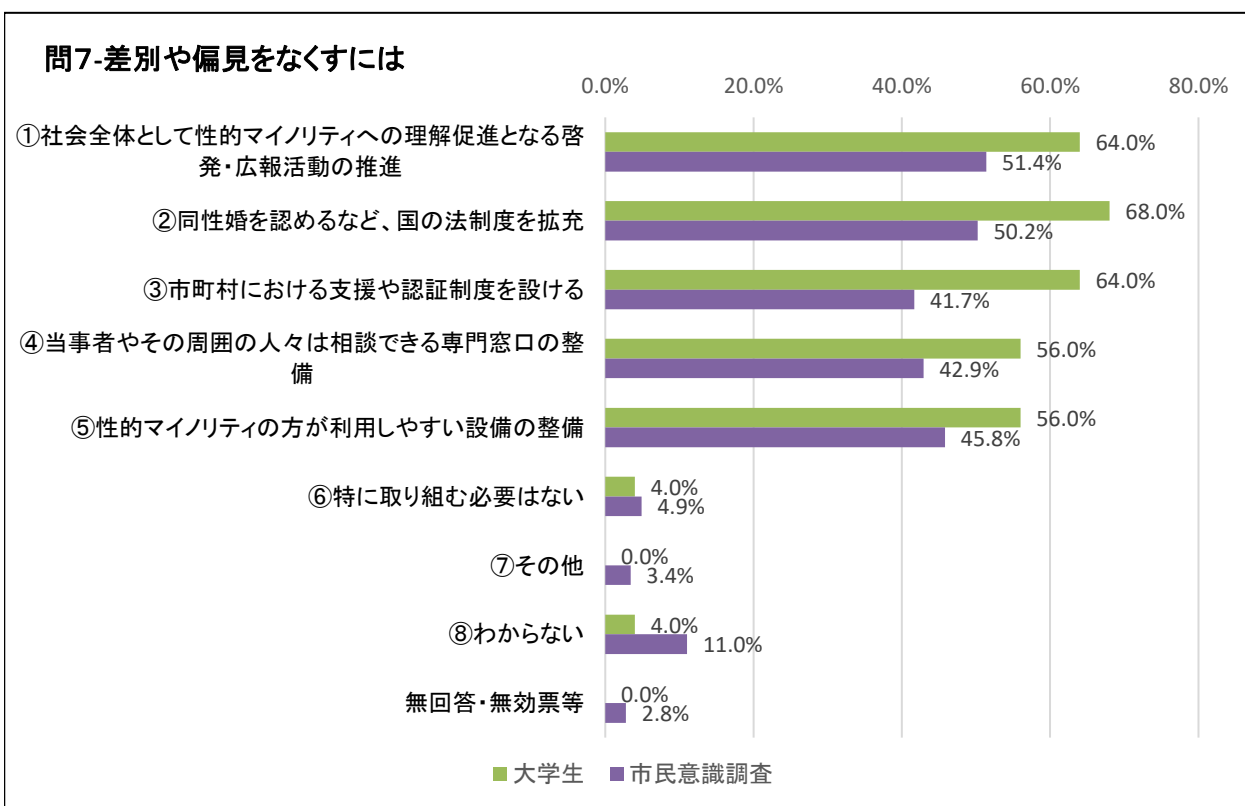
問6-問5①、②回答～理由(複数回答)

	大学生		市民意識調査	
	人数	割合	人数	割合
①差別や偏見、いじめ等が存在していると思うから	17人	85.0%	684人	85.1%
②家族や友達等に相談しづらい状況にあるから	11人	55.0%	471人	58.6%
③制服や設備(トイレ、更衣室等)など生活しづらいと思うから	13人	65.0%	557人	69.3%
④就職や職場で不利・不当な扱いをさせると思うから	11人	55.0%	439人	54.6%
⑤書類等で性別の記載をすることに抵抗があると思うから	11人	55.0%	363人	45.1%
⑥同性パートナーとの関係を認めてもらえないから	10人	50.0%	402人	50.0%
⑦行政機関などの相談体制が不十分だと思うから	6人	30.0%	364人	45.3%
⑧その他	0人	0.0%	34人	4.2%
無回答・無効票等	1人	5.0%	482人	60.0%
合計	20人		804人	



問7-差別や偏見をなくすにはどのような取り組みが必要か(複数回答)

	大学生		市民意識調査	
	人数	割合	人数	割合
①社会全体として性的マイノリティへの理解促進となる啓発・広報活動の推進	16人	64.0%	661人	51.4%
②同性婚を認めるなど、国の法制度を拡充	17人	68.0%	646人	50.2%
③市町村における支援や認証制度を設ける	16人	64.0%	536人	41.7%
④当事者やその周囲の人々は相談できる専門窓口の整備	14人	56.0%	552人	42.9%
⑤性的マイノリティの方が利用しやすい設備の整備	14人	56.0%	589人	45.8%
⑥特に取り組む必要はない	1人	4.0%	63人	4.9%
⑦その他	0人	0.0%	44人	3.4%
⑧わからない	1人	4.0%	142人	11.0%
無回答・無効票等	0人	0.0%	36人	2.8%
合計	25人		1,286人	



※複数回答可の問4、問6、問7における割合について、本報告においては、母数を延べ人数ではなく実人数で算出している。